

佐 藤 實

今年三月末をもって、大久保地域センターでの実現の流れを受け、学校も土曜日が休みとなるため、子どもたちの居場所作りと社会教育を学べる時間として、囲碁教室の設立が決まりました。

計画はできたものの、全く手探りの状態からの出発で、賛同者・地域センターの運営スタッフの大変な努力が費やされました。指導する講師を集めながら、地域内に囲碁の愛好者はそれなりに見出せても、「好きではあるが人に教えるのは苦手だ」、「何も対価のないボランティアはやりたくない」等、目標人員の獲得に思わず手間がかかったと聞いています。

名称は上手く「頭の良くなる子ども囲碁教室」とし、運営スタッフが学校を訪問して広報活動を行い、新宿区報に募集案内を掲載したところ、予想以上の反応があり、早々に締め切りとなってしまった。

途中には、新聞やテレビで紹介されたことがあり、他地域から同様の立ち上げを計画するため、見学や問い合わせもありましたが、第一回

も二、三年だろうと、安易な気持ちで引き受けられる形で、期間を全うできた気がします。土曜日の学校行事が増えたのと、囲碁教室も満足できる終了となりました。

自分自身も、講師を依頼された時は、長くと目的を達成できたのではなく、意見が多くなり、満足できる終了となりました。

新宿区内では、唯一の教室となっていました。門の講師集めが難しく、実施に至らなかつたようでした。

成功の要因を考えてみると、地域活動に理解を示す人々に恵まれたこと、運営委員スタッフの労を惜しまぬ努力があつたこと、地域センター事務局の積極的な協力があつたこと、講師陣も入れ替わりをしながら、各々責任感を持つて指導にあつたこと、等と思っています。

この十六年間に教室に参加した人数は、優に三〇〇名を超え、囲碁の種まきができました。

参加された皆さん、将来にわたって芽を伸ばし、囲碁のある生活を楽しんで下さい。

我々講師陣もささやかながらボランティア活動に参加できること、元気な子どもたちと接した時間を貴重な思い出として、引き続き囲碁を楽しんでいきたいと思っています。

「頭の良くなる子ども囲碁教室」と歩んだ16年

この囲碁教室は「子どもの居場所づくり」を、という発想から始まり、囲碁愛好家であり当時センターの管理運営委員でもあった唐沢清四氏（故人）の熱意もあつて実現しました。

教室の開設にあたり試行錯誤を繰り返す中、幸いにも地元在住の日本棋院囲碁普及指導員の渡邊先生を紹介して頂き、地域の60代～70代の囲碁をこよなく愛する先生方をボランティアとしてお迎えし、「頭の良くなる子ども囲碁教室」がスタートしました。

運営委員は、子どもたちやその保護者とのふれあいの中で励ましたり一緒に遊んだりしてきました。もうすっかり大人になっている筈の子どもたちの顔が、懐かしく次々と頭に浮かんできます。

16年もの長きに亘って指導をして下さった先生方の熱意に心より感謝すると共に、子どもたちにとって、囲碁が何ものにも代えがたい宝物になることを望んでいます。

■ 編集後記
お問い合わせ
大久保地域センター
(3209)3961

今回は、こんなすてきな「みづつけた」に出会えました。次回は、どんな「みづつけた」に出会えるかな。

行事予定	
11/29 (木)	手づくり味噌教室 どんなお味噌ができるかな
2019年 1/20 (日)	日本の音曲あれこれ 「琴のしらべ」をお楽しみください
2/24 (日)	親子パン教室 パンを作り、みんなで食べましょう

大久保地区・地域だより
No.91 さわやかあおくほ

2018年9月15日発行 編集・発行 大久保地域センター管理運営委員会広報部 ☎03-3209-3961

5月19日(土)
第25回記念
五月まつり「写真集」

切り絵の飾り付け
第25回記念を祝った事務局のお手製
ゲームがいっぱい
盛り上がる「bingoゲーム」
縁日ひろば
百々寿会
カラオケ愛好会
みづき会
豊友会
チュム/パンの会
もくれん会
日本詩吟学院 岳風会
踊り八重垣会
民謡同友会

力作揃いの「展示コーナー」
ちょっとドキドキ 「測定コーナー」
新鮮な野菜がいっぱい 「福島物産コーナー」
ポップコーンいかがですか
「屋台コーナー」

お問い合わせ
大久保地域センター
(3209)3961

裏面もご覧ください →



大久保地区にこんな所やこんな事がありました。

え 本当 それって すごい！



今では全国どの小学校にでも設置されている低鉄棒（低い鉄棒）ですが、日本で初めてこれを設置したのは大久保小学校だった、ということをご存知でしょうか。

1932年頃のことです。当時大久保小体育教員だった方の記録によると、ヨーロッパ視察から帰国した学校体育界の大御所から小学校に低鉄棒を取り入れることを勧められたそうです。校長や他の教員の賛成を得て実験的に大久保小学校に低鉄棒が設置され、「低鉄棒運動」として小学校正課教材となりました。

子どもたちは猛練習に励み、この大御所の指導もあり、日本の有名な体育指導者たちがこぞって参観に訪れました。この中には後のオリンピック監督近藤天氏もおられたそうです。やがてこの運動が16mm映画になったことによって、全国の小、中学校の体育主任等の参観者が後を絶たなかったそうです。低鉄棒は比較的安価であったためこれを取り入れる学校が続々と現れたとあります。そうなるとこの運動に反対する派が起り、大御所同士の覇権争いの中に学校が巻き込まれるという苦境の時期もありましたが、校長はじめ職員は断固としてこの運動を推進したということです。

その後、体育教師や優秀な児童が他府県に招かれて講習会に参加する、というようなことが行われ、大久保小の名が広まっていったことがうかがわれます。ちなみに前述の大御所とはラジオ体操第1を考案された大谷武一氏です。



大久保一丁目にこんな施設ができました

行ってみようかな！

旧大久保出張所の跡地に2018年4月、高齢者施設「あんじゅうむ大久保」がオープンしました。2階・3階はグループホーム、1階は新宿区在住で60歳以上の方が利用できる高齢者地域交流スペースになっています。安心して生活できる場所を必要としている高齢者家族にとって、小さくはあっても街中に、このような施設ができたことは、ちょっとうれしいことではないでしょうか。

1階には自由に交流できるフリースペースと、4室に仕切ることもできる多目的ホールがあります。ホールは5名以上でグループ登録をすれば、借用することができます。

また、地域の高齢者に向けてさまざまな企画も行われており、例えば映画会であるとか、ヨガや健康講座など、無料で参加できます。

一度訪ねてみては如何でしょうか。

「大久保地域見守り隊」

防犯功労警視総監賞を受賞！

去る5月25日、警視庁防犯功労表彰式において、多年にわたり防犯パトロール等の地域安全活動に尽力し犯罪防止に功労のあった団体として、警視総監賞が授与されました。



よかつたね！

み~つけた

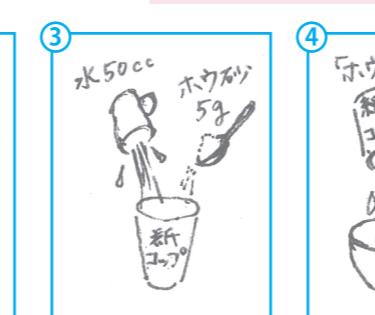
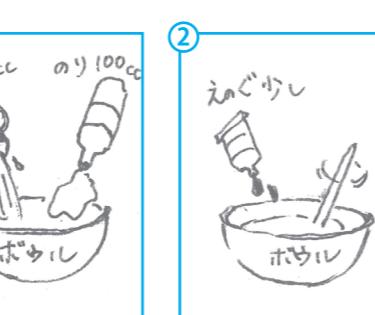
何か楽しげな声も～



大久保小
こんな
楽しいクラブ
アートクラブ



《スライムの作り方》



ざいりょう
①水 100cc
②ホウ砂 約5g
③水 50cc
④「ホウ砂水溶漬」
○材料○
○水 100cc + 50cc
○洗たくのり (PVA) 100cc
○絵の具



取材当日、子どもたちの叩く勇ましい太鼓の音が音楽室に鳴り響き、二人の先生が子どもたちを優しく見守っていました。途中から先輩二人（中学3年生）も練習に加わりました。二人の中学生は他の所でも和太鼓をやっているところで、太鼓の魅力が、子どもたちの中に育つていることを感じました。

戸山小学校65周年記念運動会に小宮四郎安光作曲「鉄炮組百人隊音頭」が、3年生のプログラムに取り入れられました。それから35年、百人町明るい会の太鼓会「鼓百」の打つ太鼓の音に合わせて踊る全校の種目となり、今も続いています。しかし、太鼓の打ち手が少なくなり、指導者の新倉さん一人になつた時もありました。

そこで、地域の太鼓会「鼓百」を子どもたちにつなげたいと思い、新倉さんが、平成20年から太鼓の叩き方を子どもたちに教えるようになりました。今では地域協働学校運営協議会の事業の一つになっています。



運動会、皆中神社盆踊り、鉄炮組百人隊の祭礼など、「鉄炮組百人隊音頭」に合わせて、鉄砲ぶっぱなしやドンドンがドンドンと太鼓の音が響き渡ります。



子どもたちに
継承される
「太鼓の音」

子どもたちの中にはお母さんもいるそうです。
見事なばかりさばきを見せてくれた子どもたちに「太鼓は楽しい？」と聞いたら、大きな声で「楽しい！」と答えてくれました。
今年百周年を迎える小学校に太鼓会「鼓百」から寄贈された新しい太鼓が目立っています。



何かを見つけに
出かけました。